

# 青鳳会資料

## 【片頭痛に対する鍼灸治療】

平成 31 年 3 月 24 日

講師 齋藤 鳳観

はじめに

慢性頭痛の罹患者数は 4000 万人以上といわれる。慢性頭痛は三種類に分類されるが、本日のテーマである片頭痛は約 840 万人が罹患しているとの報告がある。特に 20～40 代の女性に好発するが、これは遺伝的要素が強く関わっているとされ、その初発症状は小中学生時代に現れることが多い。この様な慢性頭痛は、一般的に医療機関を訪れることは少なく大抵は、売薬で処置していると思われるが、当該頭痛は長年の経験から鍼灸治療の最適症の一つと言っても過言ではなくよく奏功する。その確かな有効性を自らの患者さんで実証し、そして知らしめ特に薬の服用が困難な方々の来院に繋がるよう臨床能力をさらに高めたいものである。

### ◆頭痛の分類

頭痛は大別すると一時的頭痛と二次性頭痛がある。一時的頭痛は慢性頭痛といわれるもので、緊張型頭痛、片頭痛、群発頭痛の 3 つの型がある。二次性頭痛はクモ膜下出血や脳出血、髄膜炎等に発症する症候性頭痛である。

1, 慢性頭痛（一時的頭痛または機能性頭痛）には次の様な型がある。

#### (1) 片頭痛

##### ▼原因

何らかの原因で脳内の神経伝達物質のセロトニンが過剰に放出され、脳内血管が収縮する。その後セロトニンが出尽した反動で血管が拡張する。この刺激で三叉神経から炎症物質が分泌されて痛みが起こる。

##### ▼症状

頭部の片側または両側の側頭部（こめかみ）から目の奥が拍動性にズキンズキンと激しく痛み、時には吐気や嘔吐を伴い、光や臭い、音や人ごみに過敏になる。また体を動かすと痛みが悪化することもある。

頭痛は4時間から3日間位で治まり、しばらくして再発し繰り返す。

この頭痛特有の症状に視野の中心部に光のギザギザが現われ、徐々に広がりやがて消失する閃輝暗点がある。この症状の後、1時間以内に頭痛が始まることが多く片頭痛の10～20%に現れる。この型は女性に多発する。

## (2) 緊張型頭痛

### ▼原因

精神的緊張や心身の過労の持続によって側頭筋、後頭筋、僧帽筋の収縮、緊張が起こり神経を刺激し発病する。

### ▼症状

頭全体が締めつけられるような痛み、頭重感や鈍痛があり、痛みはだらだらと長く続くことが多い。発症は男女差がないとされている。

## (3) 群発頭痛

### ▼原因

視床下部と内頸動脈の炎症が関係し片側の副交感神経だけが興奮するためと考えられているが、全容は明らかでない。

### ▼症状

頭の片側だけに一定期間集中して症状が現われる。特に片側の目の奥が激しく痛み、目の充血や涙が、鼻水が出たり額に汗をかくこともある。多くは男性が発症する。